

**製品名:** リン酸化 CaMKII (Thr287) (3G9) マウスモノクローナル抗体

**カタログ番号:** AMM00734

研究使用のみ

## 概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:100
分子量	-

## 抗原情報

遺伝子名	CAMK2B/CAMK2D/CAMK2G
別名	Calcium/calmodulin dependent protein kinase II; KCC2A
遺伝子 ID	816/817/818
SwissProt ID	Q13554/Q13555/Q13557
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

## 背景

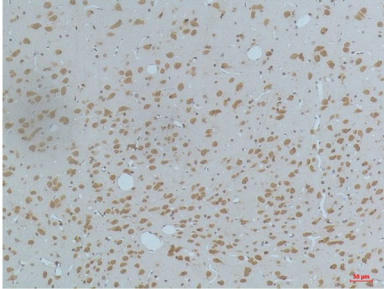
CaM キナーゼ II (CAMK2) は、中枢神経系における主要なキナーゼであり、長期増強および神経伝達物質の放出に関与している可能性がある。興奮性シナプスにおける NMDAR シグナル伝達複合体の構成因子であり、AMPA の NMDAR 依存性増強およびシナプス

可塑性を制御する可能性がある。

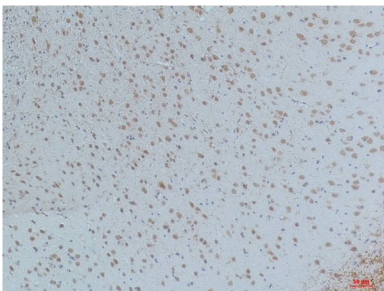
## 研究分野

神経科学

## 画像データ



パラフィン包埋ラット脳組織のリン酸化 CaMKII (Thr287) (3G9) 抗体を使用した免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



リン酸化 CaMKII (Thr287) (3G9) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。